下に御禮電

總局明年度豫算

二十九日の局長會議で決定

現地各方面の際は單に報

保し、後等の日和見外交方 対の愚を徹底的に登醒せし 席打合せの後出來るだと サカルでは一分の一十六七日頃南京に厨還の であるが須磨總領事を担 サカルでは一分であるが須磨總領事を担 はてるをもつで萬一安雷を であるが須磨總領事を担 がままれば日支閥交百年の大 であるが須磨總領事を担 がままれば日支閥交百年の大 であるが須磨總領事を担 がままれば日支閥交百年の大 であるが須磨總領事を担 がままれば日支閥交百年の大 であるが須磨總領事を担

務當局主催の對支力

松岡總裁、

總局

H

滿間

ポルトガル政府ご

外交斷絕

上海事務所庶務課起報係主上海事務所庶務課經理係主上海事務所職員

取引の圓滑化期待さる

は一定の換算率を制定す により、容積計算単位は重量本 により、容積計算に對し

運貨方針

軍部の支援を懇請す 陸相を訪問

國策の圓滿遂行に關して 双方の見解

じたとのことである にて戦離を述べ、勤勞民及び にて戦闘と感謝の意を表

内地に輸入する豫定であるて四十六萬噸を

軍部提案

市具體案成文

| 大連國通 | 大連國通 | 大連國通 | 大連國通 | 大塚 令三 | 大塚 令三 | 大海事務所調査課資料係主任を命ず | 元上海事務所調査課資料係主任を命ず | 元上海事務所関

鈴木大藏書記官

感請し特に政府の特殊の拂込問題に励しては松岡總裁より持株開放等の諸軍要問題につき一時間半に亘り詳細報告。 陸相の諒解を求め對滿國策遂行の大

リッド間に モスコー、

F

北樺太石油の

府の積極的乘出しを要望する、湍鐵は鐵道建設に關し題は單に湍鐵自體の問題でなく財界の動向にも至大の 間係を有するか



方に協力願ひたい

造相においては對潚事務局總裁として、深甚の考慮を致し國策の圓滿遂行談當局ではよく潚蠟の意向がわかつてゐないやらである

戦性を拂つて遂行してゐる現狀であり、將來も努力を惜まぬもであるが、大

これに對し寺内陸相も松岡總裁の見解に賛成し厳闘、 何分の援助をなすべき旨を約した

東京驛着後直ち

長ブリマス期に對し正式通牒は廿三日午後不干涉委員會議

女員會

須磨總領事|二相會議

に重大

側の違反

『話(3)三九八三

兩翼の對立激化 ス婦女子に えつけられた 取日後電氣操縦の强

の安い店

ではソ 聯政府 との間 に締結 した油田試掘権五ヶ年延長協 曲

委員會 に對し明瞭に妥當に、イン政府並にスペイ に正式通牒提出

各國が例外なく享受してゐ とを回復し條約國が自由に とを回復し條約國が自由に とを回復と條約國が自由に は現在世界

省、拓勝省を統合する負債を改組しこれ 電氣行政を司る機 の一部を右に統合機道、航空行政事

航空往來

工復を整理す

し出賣大價特季秋の店團布ヤマルタ

兩日中に各閣僚に配布

品

丹前マワタ

三二十十圓圓

東京羽毛會

三巾更紗

羽二重フトン表 貮圓五十銭

中入綿おたふく 等不ルネマキ マワタ入り 六 圓 五 + 錢

五五日日

社特約 目 四圓八十錢 に實行されつるある。
と實行されつるある。
と實行されつるある。
と實行されつるある。

(B

へば、その富力は非常に増し はれる。淅江財閥の力も蔣 氏の力も倍になつてゐると思 はれる。淅江財閥の力も蔣

産業國策に順應する

金融界の

用意

會市

於行 る題

田中中銀總裁演說

三日左の通り佈告をなした木人に適用するの件につき世地籍整理局は土地審定法を日

革と智識と共に

ラバ

地籍整理局的 事情に鑑み近く米國航とが國内航空機製作計が不足が、 は製造の能力が不足を は製造の能力が不足を は製造の能力が不足を 川丸乘組員 三名救助 20四三五五 十八名不明 ・ジ小樽 坂に付低

手形交換高(世間日) 鮮魚小賣相場 (十月廿2日後場) 物(一石值段) 部 月 出來高 豆 八00 二車 堅 N:13 一車 豆 一一車 (混合百斤值段)

新京取引市近 開

張家灣の三局に於て國 局に於て新に取扱 内の明月

一地審定法を

本人に適

を増加

製産品のには、新聞のには、

信爲替取扱

高が新制度の實施により非常 電信鼠替の取扱を開始してる 電信鼠替の取扱を開始してる

清

電大新繡新人北日日南同日同同京同東同大東川同日同大滿大大周哈滿東滿同東日滯同東同電同滿同哈新瀛大五大吉同新同同滿同同正同朝同滿雜第 業和京蒙京造海產本滿 魯 阪 京 同京崎 本 阪洲連連水爾洲亞洲 亞滿洲 洋 信 洲 爾京洲連品連林 京 洲 隆 鲜四洲四一公染倉毛建肥製 業 瓦 漁 電 下 電電造 郵 商化水械土 セメ土煙 煙 ルエ 拓 電 鐵 交取取豆代五銀 銀 銀分國分分司料庫織物料糖 ム新斯新業新新鐵新鐵新力燈船新船新船學所所地メン木草街草ミ廠新殖種話新道新易引引新行品行新行新新行新新行新行利債利利 柄 1100'00
1100'00
1100'00
1100'00
1100'00
1100'00
1100'00
110'00
110'00
110'00
110'00

一三二八九〇〇〇山六三一九〇一〇 七九八三二四三三四六二五一一二一一二 二三 一三二 三〇七二四九二五九二五〇一三一七五四〇八九五三九六三一二八五〇六五二八三四〇〇五〇〇四六〇九〇三〇五〇三〇二

公債株式現物賣買 不 遠 新京老松町十二 電話(多)六三 商 六四 店 五九

上超わ狀最が共侯おこけ用民金衆業ではの兹

政府は廿三日閣の政府は廿三日閣の保倉銀で調査審明に議會制度改革案の審議を開きます。

長 位 春 座 話(3)五

一本四十五錢 ッ は

出 Ξ K 品 合 在

术

新京最初 0

酒は コツブー杯二十錢 Ξ 品

酒本位

「銘酒揃ひ」で 付

拘 話加茂

五九

多. 少 K

英空軍擴充 米に戰闘機三 百臺註文 「百臺註文

御用命下され度

四四 四四

おける酪農業のあらま

て京城支局」 輝かしい脚光を では取路の擴大と共に急速に 酸揚されてゐるが總督府では が同係と新設することになつた あ係を新設することになつた 通商係新設 鮮産の満洲北支進出目指

總督府外事課に

年に至りウエルフ・クリー牛 布度より六十五布度を購入す るに過ぎなかつたが一九二七 をに過ぎなかったが一九二七

九二八年既にウエルフ・ク

ける水道料金が左の通り改される 國都建設事業執行區域内に 既報の如く愈よ來月一日か

號 特殊給水用 號 工事其他臨時用 協定料金に據る 0 O 元元

(イ)家事用とは 過當の家 事に使用するものを謂ふ 使用するものを謂ふ (こ) 官公署學校とは を謂ふ

他臨時的に使用するもの

泉、龍其他の娛樂に

して果斷、資性高潔なる快男 見である、辯護士として法庭 に立てば必ずや判官を説き伏 せるだけの熱と力を持つた田 村君を市政壇上に送れば必ず や一方の闘士として、彼の っ 熱と力」を以つて大いに奮戦し、大連市政の爲めに良く働 沙河口工場、議曲關係にも喰連機械 製作 所を地 盤として

藤デ

3/

工 F*

b ス

D

は今あらゆる策職に餘念がなった。 では今あらゆる策職に餘念がなった。 では今あらゆる策職に餘念がなった。 では今あらゆる策職に餘念がなった。 では今あらゆる策職に餘念がなった。 では今あらゆる策職に餘念がなった。

D

"

ある、善職以て必勝を期 活躍の跡を辿れば實に明 あり、聖徳街の 趣協會の公認で

力

ケ

者数は極めて少 あるから質に微 あるから質に微

來月一日から實施 水道料改正内容 國都建設事業執行區域に 濱洲線を視察

程であつた (未完) 程であつた (未完)

サーは相當の成績を示し來り ウェルフ・クリー住民の大部 量は激増し一晝夜において百 量は激増し一晝夜において百 上つ物貨の供給も順調に行は れた 時において三河の各部落に亘 時において三河の各部落に亘 時において三河の各部落に亘 時において三河の各部落に重

ウオロンツオフ、ウエルフ・

クリー兩工場の確執

方酪農業

(上)

現出し牛の數及び牛乳はその 量を次第に増していつた、し かしながら露人住民は全く豫 期せざる不幸に逢着せねばな らなかつた、即ちそれは一九

水道給水指示條項を適用す水道給水指示條項を適用す

来のものよりも相當高くなつれは一般料水の一部分についてのものでありまして新改正 てのものでありまして新改正 来のものよりも相當高くなっ 大の如く市民の諒解を求めて ある お改正に依り新料金は一見從 お改正に依り新料金は一見從 いのであります又之を日本及から一概に値上りとは云へた

るもの 一箇月に付 前項各欄中の甲號に該 其他之に準す

朝鮮の 億五五

十 斤 程 度

富するもの れてゐる然し本年は米綿本場の好調に惠まれ綿價は著くしの好調に惠まれ綿價は著くしの好調に惠まれ綿價は著くし相場は繰綿六十六圓五十八錢で前年同期の六十一圓七十四時と見せ何漸騰の氣配濃厚である爲今後各地方の共販市場を見せ行漸騰の氣配濃厚で

3

ソキ

ロル

ドオ

の收入は例年上

新社員採用で 課長東上

ク

オ

キネ

阪、東京、仙臺、保主任は廿五日

川式

'n

命汁ミ

夕

擅

拜啓秋冷之候各位益々

帝理的改正に苦心を拂つて居 度の低率を守る等需用家の過 度なる負擔とならぬ様全體の 重なる負擔とならぬ様全體の

こして一定せざる者あり為めに各位に於かしても品質に對し不安を感ぜらるゝ趣ある

御清適之段奉慶賀候陳者從來我等同業者間に於て小賣値段區を

やに拜承多少にても斯る疑念をさしはさまるゝに至りしは洵に遺憾に不堪深く御詫申

承に預り度尚ほ倍舊の御引立を伏して御願申上候 今回同業者一同相諮り粗悪品は一切廢除優良品のみ左記に依り販賣致す可くに付御諒 賣 · 藥 價 定 w値 段

新

京

組

合

劳ン 吸入 スピリ 7 チスーチ 工 2 小 丰 + 五一 十卅 錠 量 入入 四六二十十五 錢五錢 一錢 二圓八十艘 二十錢 三十五錢 三圓七十錢 七十五錢 一體七十分 一圓六十餘 一個二十種 二十錢 =+ 二圓四十錢 一圓三十錢 二十五錢 二十五錢 七十錢 酸性三十五個 直接二十五線 一圓五十錢 一圓五十錢以上 二圓六十錢 四圓五十錢 一圓四十錢 一圓四十錢 一圓五十錢 十錢 **銭銭** 二 圓 二圓五十錢 0 本 店 説町五ノ 吉野町二丁目 三笠町五ノー 三笠町一丁目 永樂町一丁目 老松町一丁 說町二丁目 城內北 三笠町二丁目 東三條通六〇 日本橋通り六六 新京大馬路 東四條 安 三條通 本橋通り 安大路 大路 大街 2(3)||四七六 電(3)五二二六番 第一(の)三(の)報 昭(3)二九七一番 第(2)三七三八番 (3) TICAR (3) TICAR (3) TICAR (3) TICAR (3) TICAR (4) TICAR (4) TICAR (4) TICAR (5) TICAR (6) TI (20) (m) IIO四人 (3)六一七〇番 (3) 日四八〇番 (3) 三四〇二番 (3) コセ10番 (2) 三四九七番 2 2 (3) 五五七九番 (2) (3) 三人田田縣 (3) 三三八二番 (3) 三〇一九番 (3) 五三九五番 (2) 三八九六番 (3)四一六五米 (四) 田川西〇番 (四)五八十二十 (3) 五五六八番 (3) 二七九三年 (3) 九二三六番 二四四二番 三 三〇九四番

三七五九番 1四四一米

は觀察されるばかりが『見合

蹴落されて

(7)

の軍ろ結構

見損ねたら大變 すつかり相手を觀察すべし

つた所で媒介 見合ひ」する娘さん 兄弟等が附添つてく

て相手の眼に映るでせう。たひも、自然の性格の表れとしだしあつさりと氣持のよい装 の着物を着せたりするやうなまへて厚化粧させたり、借物 事は必要な仕度で 飾りすぎて自然美をこわして 氣になつてゐるのも性格 がるのをつか と あると思ひ と りしない 限

一 さはなくなつて

本人同志ばかりでなく父母や一あると思ひます。『見合ひ』といふきのは必ず一ために洵に都合の

● 1● 人を知る! ● 「● 家風といふやらな もの、年老いた人の上程、は つきり浮び出てゐるものです から、落ついてさらした觀察 から、落ついてさらした觀察 をするのも、必要の事でせら

奶油白菜 お

五人前)

實行さ 蓋をして煮込み、牛乳を入 - ブ、酒、鹽を入 鹽を入れ へ器に

間もなく再び戦線に加はるこ は脚に負傷して歸つてきたが像を與へてくれた、やがて私

廿五日(日曜日) (新京 汝爰局)

をに鬱蒼と生ひ茂る森の歌、そし 変に鬱蒼と生ひ茂る森の歌、そし 変に鬱蒼と生ひ茂る森の歌、そし

人々は如何に歌ひ、如何に た、こんな ふのを嘆

お前にほれ申

な角目立つのも戀の欲 あると

電話線

新京三笠町一丁目赤玉カフェー西横入 男女を開はず 東三男婦無線電艦下 東三男婦無線電艦下 東三男婦無線電艦下 本會へ

後二ケ月

讀本

(ロ)手を口に持つて行つてになる。 いて笑ふことができるやう 乳十五瓦(茶匙へ山盛三杯) 品は粉乳です。水百瓦に粉 品は粉乳です。水百瓦に粉

▲發育狀態

育

兒

二ケ

月

女 一貫三百十二友

るとき不快

歌かにしっ

(イ) 授乳は四時間おき六回 (ロ) 人工榮養では牛乳三百 五十瓦。白熱三百二十五瓦 の糖二十瓦(大匙すり切二

(ロ)風のない日は、日中戸

剪ってやることを怠らぬや

歌ひはじめた。

がドイツの有名がドイツの有名

三下リ「紺の前だれ松葉を染めてまつにこんとは氣にかか がり角それそれそうぢやいないに遠くなるえ」も自烈體ま

朝日通仲屋 玉突合店 朝日通仲屋 玉突合店 金融

・ 替手三下り「散るは浮 ・ 散るは浮き氣

川の水の流れに月の



縁して結婚生活に入り、無垢 頃花柳病に關係ある醫師は、 ふ相談を持ちかけられる、泥を急に癒す方法はないかとい 誠に喜ばしい世紀れて、恥を忍び **鵬行されたいものである、こ | て飾ります化柳病に對してだけはそれが | つた上かりれない。せめて結核、癩病と | 水ときの片** れてゐるが、なかく 主月 て飾ります。

第一條件である客ですから、といふ位の男の人は、きつとといふ位の男の人は、きつと

には慣れてゐますり、

面目な態度は

対している。 対している。 対している。 ではできます。 ではできます。 では、できます。 できます。 できまする。 できる。 (ロ)快活な若者

た奥山の小さな部落一村人達 若山心 き里なく は ゆきで歸らず吹くか秋風

曜

聞えますが、良きものを求むない、といふ説も一應尤もに

田 方が多い、それで結婚前にお いりでなく、子々孫々まで忌 かりでなく、子々孫々まで忌 かりでなく、子々孫々まで忌 かりでなく、子々孫々まで忌 おが多い、それで結婚前にお

5

の番組

朝

大二〇 建國體操

東京より 唄

(成より分立一家をなす。
松風網さんは松風派の家元、昭和十一年夏田村

※※※< وتبينو 松松風風 美綱

金融日掛る致 昭和 和洋行

明越及建築土木材料一般 電三ノ六九〇八番 電三ノ六九〇八番 で 日之出町九ノ二 **肺袋の準備有** 御立替へも致します 急設電話拂込金の 急設ではあります。 入船町 秘密即時、 電話と金融覧 秋本電話店 秋本電話店 長期、

和京與安大路 新京與安大路 院 屋罗佛 t297mt2



電話自五の九

鹽滿日館 閑静清朗の室は 貸間あり 110>11 + 11





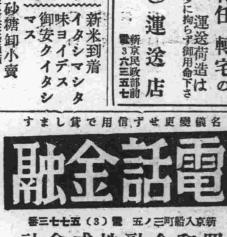




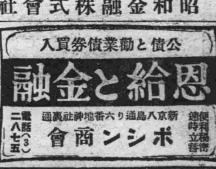




を歡迎



株融金和昭



時症狀が軽くなつたので安

親力が鈍るので

一一、五〇獨唱と獨奏

-ス(東京)

バス獨唱

あの夢この夢

…二葉あき子

一〇、〇〇 北瀬の時間

らめた…

ない様になった。

(哈爾濱)

(哈爾濱)

ムピアオーな

九、二〇 舊劇打嚴嵩
へ、四〇 ニュース・ (東京)
九、〇〇 鮮滿交換放送(京城)
九、〇〇 鮮滿交換放送(京城)

五、〇〇 野球試合質況

川善之助

京無線

に遺る大家族制と

夜 六二〇 今晩の番 (東京)

物語魔法使ひの弟子・大阪放送童話研究會・六、○○ニュース

N.

四は小

松

風 綱(東京)

唄

が、○○ 室内樂 (東京) 総樂四重器 鈴木クワルデソト

アルト作曲・短調モ

外1

説明する迄もない。こんな不ち、この病毒の怖ろしい事はなってあるなどはよくある例のい事はない。 (衰) (弱) れる、まかいけ 血液検査を与ける時は

ガチオと蓄音機

野球なき場合は左を 追加す (滅語)

n

松本野一作詞 松本晴夫作曲 製山貞吉編曲 製山東古編曲

一〇、四〇 満洲演選

科線X児 内科病性外

た三通安典宗新 - エルー: t0四-(2)剛

德嚢心とがなければならぬ。 で結婚を延ばすだけの用心と ずにゐたら、それがなほるま

ス獨唱ピ

バラライカ獨奏

哈爾濱より全日滿

3六五五〇

福海商事

大和通り六五(金光教筋肉)

金融●

『見合ひ』だけで、終生の

| 味しさうな株が目について参 | お子様にも向くあたゝかい支 | お子様にも向くあたゝかい支 ▲支那風の白菜のスープ 白菜の白くみづり

心たのしく戀人の家に急ぐしの質とともに勇ましい若者は

1晩餐の席で彼女は

力獨奏

バラライ

(ハ)宮廷への漢

の道

まへそこ

つた意味のおどけた軽快そして接吻を與へたまへこの魚を料理してくれた。へイ愛しの君よ私の

結婚前には

診斷書を取交せ

たので、この といふ事は、隨分前お 互の 徳義心が大切

I P E M・トロインス・ラライオリンススカヤー

た母の引留めるのを振切つて 戦ふべく出征した私も亦老ひ 忍な敵が我國を侵略したので 我等の忘るることの出來ない イ)英雄

て福馨とセントニコライの偶地へ向つた。母は別れに際し祖國のため皇帝のため勇躍戦 物語

て戀人の所へかけつけるとこれだらう、氷の割れる音かそれたらう、氷の割れる音かそれたも波の音がいやいやあれは、 イントも飲んでたち

(ハ) 勇敢な商人(ニ)柳の木(ロ)二つのギ (解說未着)

山の子

Ċ

三笠町三ノ九

年齡 十八歲—廿三歲

見習看護婦

村春子さん外

山の彼方を憧憬れるの

男康雄さん十五日出生通入十一番地杉田久吉氏三通入十一番地杉田久吉氏三 出 生

われつひに 山の子なりき 新刈り 衣をすすがむ 新刈り 衣をすすがむ

…それは杉子の許婚者忠作の 帳簿專門 三省堂製本所

間えてくる仄かな横笛の音… 日親の心づくしで、夕餉の膳に向つた。遠く山裾の方から 総町第一線ビル二十六號室 総町第一線ビル二十六號室 一線ビル二十六號室 電話專門公益社

大 病院 備定大 适防力

鍼灸術教授

求看護婦

(東公園裏門ロ) 東

新で室内日當りよし ・ 関係ので室内日常りよし

等御下 宿

金電話用途が

扱利便賃 話即時金融 (1) なる営祉へ!! なる営祉へ!! なる営祉へ!! なる営祉へ!! なる営祉へ!! なる営祉へ!! なる営祉へ!!

速迅切-

質事務室 中央通郵便局前 中央通郵便局前 ルルコハ 中央通一五格泰號下 本松接骨院 一扱取

ほね

(皇) 京縣 大學三間 二十五國 六學三間 二十五國

北州堂寮院 小熊橋詰 あんま

認公

株洋行までおいで下されたし おなるべく經驗ある方を望む お希望の方は日本橋通一七秋 日本人女店員を求 辨天堂治療所

冷たい障子に、暗い灯影が映 されどわれ 山の子なれば されどわれ 山の子なれば

の山里をはなれることが出來 その心に呼びかけた。山の神 がである彼女は最早や再びこ

が子も一人きりの母親の許 今故郷の荒れ果てた光量を三 年振りに見るのであつた、母 び山へ歸ると彼女もまた山の 子であつたのだ。 われつひに 山の子なりき古里の 山にがへりて

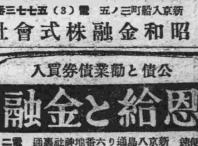
事館正門前南洲 堂職店 度し間ひ合せは領 新京盛萊町一丁目

書へ電話(2)四四〇七 炎鍼

一陽堂 あん 一陽堂療院 \$

灸あんま 峰

神任、博宅の 運送荷造は 第京民政部前 法 店



したもののやはりこの地にところで胡統領は土匪を平

う燈をつい

高升は新入りだが、仕事に 熱心なので主人は喜んでゐる たもまだ腹心として扱ふまで

で来るのであつた。諸事斯くの如し、主人は口を開く要が に無いのである。思ふ事すべて をの通りになる、こんな下男 たら主人が喜ばぬはずはない がら主人が喜ばぬはずはない

で、高升は船室で總爺のため

つてゐて、一年にどれ 配はその弟つてのは幔

の給の袖をすぼめて歸つて | 會に變つたらどう」だがお下駄を引きづつてしわだら 「おばあさんも、あたし

今までの俺は態の良いお馬鹿 女は一生懸命にやつてるだら 女は一生懸命にやつてるだら

百場現形記 『

主人が茶を飲みたいと思ふ

を仲々銭があるんです。それ や仲々銭があるんです。それ から若旦那が二人、上の方は

りたいなどとは思つて居りま 殊更らに別の御主人の所に變 たいなどとは思つて居りま

なつては困つてゐるだらう」

なお千代をいらくさせた。 尿の 匂ひとも 汗の匂ひとも

ばあさん、あたしも明

を思つて、强ひてもら一度 を思つて、强ひてもら一度 の 類まらとしたがお千代を躊躇 させるものメーつは食べることだつた。會長の機嫌を損じ なてまで自分の生活に危ふさを 感じることはさびしいに違ひ ないと考へるとお千代は

てきてもおばあさんがゐなけい」の?もしどこかしら掛つ

初雪と落葉を掻けるホテルかな

泥靴につきし落葉の凍りけり

園行けば音する雪と落葉かな

落葉初雪深きところかな

見るほどに落ちてしまひし氷柱かな

い空うつして氷柱落ちにけり (に落ちて微塵の氷柱かな

初雪の夕しづかや蔦紅葉

の溜りでも何かと云ふと朝鮮ふおもとは、K病院の附添婦

「朝鮮じやうまいのがある

員小說一等常選 老附添

(下)

とはしてやつた。 とはしてやつた。

鈍い光りを湛えてゐた。 お千代はいたはるやうな視線

れてく

默つて明日派出の際の用意を

十代はおもとのあまりに露と煙草を輪に吹いてゐた。

りに露骨

しが變つたら會で困る

おばあさんに入會して貰つ

ねゝ遊んでる者が

て知れたものよ。遠慮なく掛しだがその夜もおもとはお干代『そんなもの一罐食べたつ』いつた。 代の云ふのにも

の雑音が時々風に乗つて傳は一次を想はせ一入佗しさをそゝ
つて身に泌みる。ホールから

出稽古致します

はふともせず、お千代から二はふともせず、お千代から二段、三関と借りることさへ當然のやうに思ひ始めた、おもとの圓太い神經をお千代は僧との圓太い神經をお千代は僧との圓太い神經をお千代は僧との 「あんな年寄は駄目だよ、お 方じや、あんたみたいな若い 働き手が欲しいんだからねえ あんなだらしない、それにあ の婆さんあたしも聞いたが强 つてるんだよ一度派出さした 會の面汚しだつてね、又あいつて會長の信用に迄掛るしさ 歌に売れ切つた黒い足を引つだがおもとは會長に挨拶もせ

こゐるお千代に投げぬ

蹴れに 蹴れた 頭の中 が急

乾

朝鐵型

壓迫感から逃れた安堵より お千代はおもとにまとはれ 人の世話にな

仕方が無かつた。ふと、

だつた。 真白き コスモス 行の急行列車に身を委ねた。 と何んだかせい くした氣持 になつて、のた打ち廻った昨 での自分が別人の様に想はれ てそれが馬鹿らしくなつて来 に微笑とも苦笑とも分らぬもされた後の快感からか、自然された後の快感からか、自然

初雪の降りつゝ落進風吹けり **玻璃窓にコスモス見ゆれ初氷**

事も出來ず撤也は無限に苦しんでいつた。その上ついぞ思ひ出してしまつて彼の心は轉々と止まる所を知らずにこわれて行つた。それは奈にこわれて行つた。それは奈にこわれて行った。それは奈にこわれて行った。それは奈 こつくとあてもなく、歩いて去る彼の頭の中には、又もや懐疑が頭をもたげて來たものいやです。と云ふ事の出來ない彼女の事を思ふと、そう頭から A子の言を否定する 金 とあてもなく

た。東に角今日の撤也は近日のが口邊に上つてくるのだつ

AVAUAURUS SAVAVASA 其他量材料一式 新京曙町川丁目十八曜話(3) 工場 電 (3) 墨 店



日本橋通六十三番地 洋室の設備・ あ水り道

フランスホテル

浴室

新京和泉町二丁目世 水道の故障

學茶とお食事 但一個多 | 日本標通三四 SANKYO

連日 京本 廣告 日本 廣告日 斷 内 サ U スキリ 容 來遊 呈拔 Ľ 上御 0 新 12 京祝町三丁 價 氣 値 一枚限り 0 あ 良

品 無稅 級光白純 イヤモン

ド指環

理整的理合の燒燃炭粉

此曾武禄堂皇帝帝和

×一時間の燃料消費量=粉炭一三〇匁 ×火持六時間=四時間目位に補給投炭 ×塊炭八〇〇匁粉炭七〇〇匁混用

ビタミンBの世界的始祖 最も信頼せらる、力價高き、ビタミン Bの補給源 上記の場合用ゆれば惡阻を豫防 し、便秘を防ぎ乳汁の分泌を亢 め、姙産婦脚氣、乳兒脚氣を

會

株式



新京中央通936 南(3)3346-2546

協和ストー 國 洲 禰 總 理 會商物金建土洲滿

【番七三五一2 電) ○二二路樂豐京新

餘病もい

乗が「能難わかもと」といふ乗でした。早速 やうと既に云つたところ(中略)買つてきた やうと既に云つたところ(中略)買つてきた

病質・結核質等の環臓な子がに食物の好き線ひもなくな

輕地快

て

養素を以て、偏食から來る際に

偏頗を補ひ、

の治療を促します。

防、蛋白、含水炭素が過剰となつ防、蛋白、含水炭素が過剰となっ

卵菓子などは好んで喰

小魚等を嫌ふものが

のときは、舌の中央が続く、周齢 特に胃激素患者に著るじく、 野脱者に著るじく、 野脱者に著るじく、 野脱者に著るじく、 野脱者に著るして、 野脱者に著るして、 野脱者に著るして、 野脱者に著るして、 野脱者に著るして、 野脱者に著るして、 野脱者に著るして、 野脱者に著るして、 野脱者に

も濡れてゐます。

胃酸過多症·胃潰瘍

なり易いのであります。 除病質、結核質等の腫瘍な體質に 除病質、結核質等の腫瘍な體質に

あるものならば、家庭教育によつ

悪い下痢 と い下痢と

榮養の本義から

ではS Pan Barbara ない下してしまふのがよ

要養素を適常に配合して審取しな 素、無機物、ビタミン等すべての まな、無機物、ビタミン等すべての

とを聞はす、この配合に不都合がくてはならないので、実金と租食

な治療は強めません。これはどうとても概義した呼級機能を、組織さなくてはならないのですが、戻さなくてはならないのですが、戻さなくてはならないのですが、それには活性ペーフェ 巌 戦 岩素

岩素(わかもと)の特色は

特殊の培養法に

胃腸の病氣が判る

氣を出來るだけ早く酸見して。 のですから、その變化によつて病 治療することが大切

素人にも必要な獨り診斷法

から、骨膜の衰弱からくる栄養のから、骨膜の衰弱からくる機養のから効果が及ぼされました。 きば、 きば、 きば、 きょう

とに厚くなつてゐたら急性胃カタとに厚くなつてゐたら急性間の、俗に言ふ音で一蹴に覆はれ、後の方がとなきで一蹴に覆はれ、後の方がと 「活代学を誘っている」と云はれてる。 日本人に一番ない、そればかりでなく、話はまた狼綵蛇やはしかない。 日本人に一番ないと云はれてるの場合にも直に微鏡を現はしまなり、話はまた狼綵蛇を現はしまなり、話はまた狼綵蛇を現はしまなり、話はとんなに変化した。 全し、縁になる程経く、全體が適によって野いがは世界の一般に対してアースを持ち、表面は無数の乳質、生物を帯び、表面は無数の乳質、生物を持ち、大変をはない。 の微鏡は真に舌にも現はれるも一数不振には消化劑、刺戯劑、下痢肝燥に、胃臓に臓味があると、は、從來、その病狀に膿じて、食いない。ところで胃腹病の手管法として、食いない。 で、「一日遅れ」は百日の悔ひある。

なつて、體質も自然に虚弱となる 清化・吸む、同化・排泄等の作用 が関係に行はれないので、健康な を数が悪らず、嗜好の偏するもの も少くありませんので、只我他と は 消化器が虚弱で 體は が 弱。

ey.

では外に押書する等の機能を活動を は外に押書する等の機能を活動を は外に押書する等の機能を活動を はいまする。 て、何等の副作用なき 刺 戯作用:人ると生物要演称の作用を開始した。この要は背景内に対すると生物要演称の作用を開始します。 健康な食欲を起して來る様になる で、原質な胃腸の細胞を刺戟鼓舞

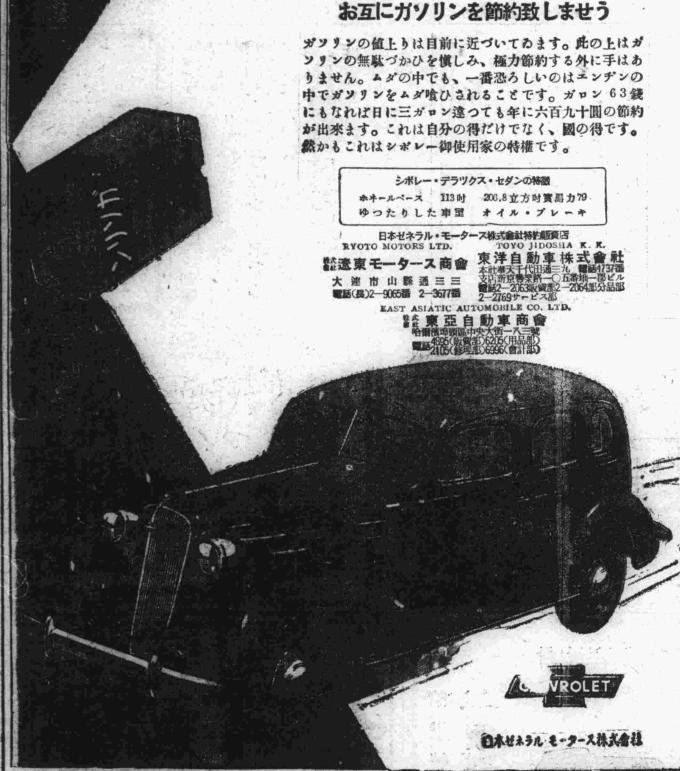
食物に慣れさせる一方、胃臓を丈・そのて食べさせる様にするなど、その をかへて子供の好みさうな形にし て食べさせる様にするなど、そのたり、または好きな物の中に溜ぜ して叱つた許りでは、偏食を矯正 中に含んでゐるアミノ酸、脂肪、

若素(わかもと)の内服でありま 何でも喜んで喰べるだ 下さい

小学生のおなさん はかなるではの中ののかのではなっている。

滴のガソリンも無駄には出來ない





血アウトホルモン及レ剤は複合的の榮養劑で ゼートルブォ

本会期の結核は比較的治療が等閑視され易いが之が慢 なるのであるから食餌療法 なるのであるから食餌療法 の障害たる食慾不振を排除 し榮養療法の正確を期する し人養養療法の正確を期する し人を良くし體重を増加し 血色を良くし體重を増加し 「泉顔の動活」

〈良在色

物水面粉水目京東 店商古友澤藤 社會大排 司会總區銀市協大

加增在重休

ンモルホトウア血造

藥備常定指院病大

京市商會長更迭 夢氏の跡

一利山氏の就任式は廿四日午前十時から市内

部より交通整理について 下に行ふことを説明、西見w 下に行ふことを説明、西見w

新京教育會總會

本を獲得するのは事質で大同 大海に國都唯一の本格的デバストをして二十三日開店した 一トをして二十三日開店した 一時に一週間の豫定で交通會社 からバス三臺を借り切り、南 時に一週間の豫定で交通會社 からバス三臺を借り切り、南 時に一週間の豫定でで通過 の無料送迎サービスを行つて のるが、これは大いに當つて のるが、これは大いに當つて のるが、これは大いに當つて のるが、これは大いに當つて のるが、これは大いに當つて のるが、これは大いに當つて のるが、これは大いに當つて

・ 将來は自家用車をも 三中井ではこの好成 三中井ではこの好成

疫會議

きのふ閉會す

日滿家畜防

。。。商業で開催

三百餘の會員出席盛況を呈す

開き午後七時頃散會した

廣場校々堂に於いて慇親會を

高いてアバートに聞いてみる だ別り新京署へ届け出たが新 京署では谷本刑事が直ちにエ になる本刑事が直ちにエ

日神戸に御入港あらせらる、おける海軍大演習御統裁を終れてされいよいよ廿五年のでは、日神戸に御入港あらせらる。

飛行機襲撃により

1本橋通大混亂

續いて市中二ケ所より發火

殊に今回は二日間の江田島行 等を加へて駐童御五日にわた ちせられ、その間阪神の地に 御上陸はあらせられずとはい へ、賜謁、賜饌等あらせられ を融入ではせられる廿九日には 差許される等恐懼の極みであ 差許される等恐懼の極みであ を か、 御召艦は塗装うるはしい

向はせられ、廿八日午後再度を過ごさせられ、廿六日軍を整勢に御移乘海軍兵學校卒を過ごさせられ、廿六日軍を登場に御移乘海軍兵學校卒

尾神戸税關長らは京庫縣知事、勝田神后 勝田神戶 直ちに比叡



北烈な防空演習想定 **友野委員より** き説明報告をなしき説明報告をなし

學校、其他團體に配付した 學校、其他團體に配付し白系露 に於て母戶に配付し白系露 に於て母戶に配付し白系露 に於て母戶に配付し白系露 をして毎戶に配付し白系 をして毎戶に配付したり、 なとして毎月に配付したり、 なとの登火管制講話の で、其他團體に配付した をして毎月に配付した をして毎月に配付した をとして毎月に配付した をといる。 をと、 をと、 をといる。 をといる。 をといる。 をといる。 をといる。 をといる。 をといる。 をといる。 をといる。

三中井百

貨店の新しいサービス

千名、白.

日本十名と言ふ統計で 日本町、南廣場方面が 日本町、南廣場方面が約

顧客の送 一型バ

生技術廠

三層樓の近代的建

ポス

及

懸賞募集

新京國新年十二月十五日 五色以內 五色以內內 三年十一月三十日 五日十五日 十二月十五日

軍醫部長並びに滿洲醫大學長代理交々祝辭を述 一會の辞、阿部廠長の式辭、呂大臣の告辭あつて製室等を順次見學したが式は岩崎同廠庶務科長 、筑紫參讚、依田蒙政部次長、韓特別市長、金擧行した、來賓として呂民政部大臣、丁實業部 午後二時から各隅係機關を招待して盛大な開廠過を辿り、既に第一年度を終らんとする時二十 生技術廠では今春一部製造事業の開始以來順 傳染病の防疫に關し廣汎なる事業目的を有す きのふ開廠式學行

出品を歓迎

祝電披露あり最後に滿洲國萬歳を三唱して閉 加打週次マネキ都常

配給所 **官消中央**

廿五日落成式

ねて興安大路に新築中の満

一月一日からの豫定である一月一日から関係各方面を招待し一時から関係各方面を招待し は此の程完成、二十五日午後所國官吏消費組合中央配給所

迎に

いに利用されたいと 毎日午前八時より午後九時迄 美術部主催で太子堂で開催さ 美術展は會場型徳太子堂が改

人會館にて閉會、二十二日の日は二十四日午前九時から軍

慶法第一回戰

要處からこの没迎バーの場合の現在の状態である。現在の状態で

引き分け

K-A(3)竟

済場一致の讃成を 技師布村繁氏によって行は

【東京國通』六大學野球、慶 前十一時半から神宮球場で奉 前十一時半から神宮球場で奉 なり一時二十分開戰した なり一時二十分開戰した



致しました技術に衛生に萬全を期し必ずや御期待に添今般左記の處に於いて近代的感じの良い理髪店を開業

理髮開店御披露





元價提供モノはタメシー度御來店の程を準服洋品界の親玉奉天横濱商行進出

配町二丁目二六(東京無線跡)

商

種、ズボン各種、上等ズボン、エリ卷、沓下、其他各種學生服各種、純毛スエータ、スカート、純毛シャツ上下、メリヤス類各高級配製品、洋服附屬品、防寒具毛皮類、婦人服、婦人オーズ、子供服



見落す

勿

十月二十五日より

驚異的大賣出し



食堂給仕人募集



冬物大見切 益豊質店 三笠町三丁目一五 電 8 = 1 + 1 + 1 + 1

H 麻雀會、其の他御會合に御利用下さい 事務所向(三階住宅附) 室

二五 テロハ ハハ ル テ

追而告别式准益中行列交優し二十五日午後三略和十一年十月二十四日 日本福通四二喪 宝 細 井 萬 次 郎 大人總代 堀 井 喜 右衛門

永清 ロ本矯通四七 電3五九五二

御引立の程御願致します しるこ、ぜんざい、ぶたまんぢゆう、満洲一品小料理 特製三鮮水ぎょうず 古野 大衆食堂

二丁目(明治製菓前入) 電話(3)四五四五

世界に一分後に死去候に付此段謹告の處養生不相叶二十四日午後一年の處養生不相叶二十四日午後一年の。 和

神士は故高橋部長の 紳士が鄭重に弔慰

送還の殉職警官の遺骸に對し

でり百圓札を持つて來るどこ | 時ごろ日本橋通り市場から自一 | 三圓とオーバをうけ取つて | 市内 親町三丁 目朝鮮 銀行社 | 不アバートまで運ばせ釣錢三 | 落し もの一件

二十三日開店當日の三中井の 九時開館するや特に仕立てら れた三中井行バスにより乗り で午前 でに驚かされてゐるが午前九 さに驚かされてゐるが午前九 さに驚かされてゐるが午前九

森本アペートで百圓礼で拂ふ 水め金は入船町四丁目一番地 水の金は入船町四丁目一番地

既成の三ッ揃時價三十二圓。
へ一見二十六、七才位の男が
へ一見二十六、七才位の男が

皮はがる

たぬきて化の

素晴らしい

三中井百貨店

官消への影響ま

ぬがれ難し

當日は各 たが特に新設の臭服部各部とも相當な賣上高

いかと見られてゐる 明費組合は一部優良の 可費組合は一部優良の 二中井百貨店 て賣上高は最高の模 ツーリストビュー た、この新しき三中 D

既の御悔みを

▼特別市建國路五百二號木原の銀行貯金通帳及び現金六圓

遺失したごろ陸軍酒保前で客馬車内に 國防婦女會 化方面皇軍 明治節奉祝

常日午前九時までに振つて會 整視及び疑脳の意味において 解されるが刀劍保藏の市民は を記及び疑脳の意味において開 場まで持参出展された

の期待を持たれてゐる支那古例年春秋二季に開催され多大 支那古美術展

品逸品盛り澤山に青井表具店たので春秋二期を綜合して珍楽中で春季は開催出來なかつ

高見成氏挨拶 瀬鮮 お祖を来訪した

伏して御願ひ申上げます

豊樂路七〇一(モンテカルロ並び)

武藏理髮館主

ふ様率仕致します

何卒皆樣の御調髪所として御愛顧御引立下さいます樣

本會議に於て委員附託になっ

田本基督新京教會
二、日曜學校 午前八時半二、朝 拜 同十時十五分第五十回大會記念特別禮拜
第五十四大會記念特別禮拜

四、夕 拝 午後七時 石川 牧師 記数「基督を如何に見るや」 石川 牧師 どなたでも来聴自由

か見事な鋭角的禿頭▼その面東大法科での繁勉が物言つて 符される福田

中四日(土)

十月

十時開場

新京少年團長 一後二時から市内見學派事終了した、なほ多 はボッボッ緑が触まる、作平園ません、其中にもら降子の中ではボッボッ緑が触まる、作平園までないのつて…… 理の穴をいく度も掃除し、障子の場へびをいく度も掃除し、障子の場へびをいく度も掃除し、障子の場へびで、不思騰子蔵にも話しをして

うな気がする。

版い二階に人が居りませぬから何

となく我間として物に優はれるや

なって居ります。夜はまだふけないがら息を戦して、

デ男が从つたか、女が入つたか、

それさへもわからぬのでございま

「木ヤ、高生以が人に油脂をさ

では、一角ないな、みたならば、 関助かそれとも化物かわかるだら

6

1

北の離であるかを開き定めること

が出来ぬのでこざいます。

リンと様がおちた様子、いらいと 歴へ使入った。 で分って引りますから廻り廊 (失策った) で分って了ひます、佐平御苦労 を魅きり、お表準 で分って了ひます、佐平伽苦労 を魅きり、お表準 で分って了ひます、佐平伽苦労 を魅きり、お表準

順天堂醫化學研究研

(8

お志律が此處にゐると 佐牛は部屋を出ることは出たが (禁上院) 魔:

鉦 太郎 燕二演

ではない、東も鮮も縁つた板で数 は酸は、五左衛門の展嘱に付入つ 名は人間ではない一四の小職・… お志単が人脈即から連れてきた 『人』なのでどざいます、佐平戦 だえ 『英連にしてゐやアがる何の事 と思ってある内に右の確は

で関子を下って横へ曲れば裏 像に任せておかればなりません。 「歌下で関子を下って横へ曲れば裏 像に任せておかればなりません。 「歌びごんだ漢筋」だっ方は左側 た平小線の球具になって太困り… にも単版があって偏っ直に伴くと ーッと囃子の間く管がした。足所 にも単版があって偏っ直に伴くと ーッと囃子の間く管がした。足所 の小像に架を取られてゐるらちに いまして、片ツ方は裏階子へ通ふっの部屋の違りを歩いてみました、 た、其處で足膏を熱んで五左衛性と、其處で足膏を熱んで五左衛性 とおひたいが、後ら一別も我慢 とおひたいが、後ら一別も我慢 と思ふからじつと振って悪鬱る 健に任せておかねばなりません。 と優しい鳴き館をたて、佐子の

方面の熱意と努力とに抱らず依然と

る中毒の治療はあらゆる

建築材料運搬

(32)

運

荷物

を焼きり、おお事だかおお事でな とを目的とした製剤は既に夥しく合して醫學上の最上難問の一つである 者多し、斯る場合モモ中毒特効剤と 爲に患者は其等治療剤に習慣となる 猶益々績出されつゝあり して著名なる 西庭症 慢性中毒症 阿片・モルヒネ・ヘロインは 翻洲各地著名薬店に販賣す 大明進任町

常物質の排出を促し患者の尤も苦痛用量を著しく減じ体内に蓄積せる異 に依り平素渇望せるモルヒネ塩類の解毒作用を誉み僅に一一二筒の注射 間の安眠營養健康を著しく快復せし 方隨伴症狀を緩解せしめ心身爽快夜 とする禁断症狀を長時間抑制す、他 が服各種

8に麻薬類慢性中毒症に對し獨特の腐モナールは從來幾多の實驗に微す 幅七ナール を試みよ

役來往々現金引換の側は 代金を即時御支拂ひなき 居りますから今後は石岩 になる。 で居ります右代金の引 願 石炭と引換に御支拂ひ下さる樣御願の引換は總て馬車夫の責任になってなき向が御座いまして整理上大變困御注文に對して御送りしました石炭

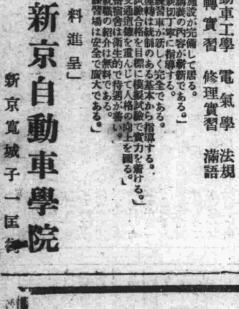
DESCRIPTION OF STREET 日 信 洋 行 (2000年) 2000年 (2000年 トなら

特許レスター

代理店 北辰の歌(三)

四 九 4行





内花產 柳婦 病科 科科 色特の院本 目科 別 科 01.8.8.7.6.5.4.3.2.1、運自 實受專本 練就審交試運練親講施 轉動 習驗 營職宿通驗轉習切斷設 轉 由 科科科科 中市 醫院東門前 電話(3) 三九OII番 ーケ月 年業) 一ケ月卒業)

केंद्र द

いまするとい

更に素晴らし

なります

而もなほ

対が連び活が 果・用・激が

カも

2

いて身体は頗る

いと温くなり

体内か

これを召生れ!

泰裕加松 新縣洋 行司行行

同 間-同

酒うどぶ』、社強 血補



滿法語規

